

登録コード	L2130100	開講年度	2026				
担当教員	伊藤 加奈子			副担当			
授業科目	中国語学・中国文学特論 I						
英文授業名	Chinese Linguistics & Literature: Lecture I						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3時限
講義室	人文第3講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力			⇔	中国語学に関する文章を読み込むことで、多様な表現に見られる特徴を理解し、それらを駆使して様々な場面で発進することのできる外国語能力を身につけることを目指します。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	中国語学に関する基礎知識を把握し、更により詳細な情報について考察することのできる能力を身につけることを目指します。		
	【2023年度以降カリキュラム対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	現代中国語の様々な言語表現について情報を収集し、理解をし、批判的に考察をし発信することのできるリテラシー能力を身につけることを目指します。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
授業の概要	中国で発行された語学雑誌の文章を読み、引用例文等を検討し、受講者が実際に読み込み理解する形で授業を進行します。中国語での発音も求めますので、地道に読み方を調べるといった予習も必要になります。						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 従語言接触角度看日源漢字詞進入漢語和韓語中發生的变化 原文読み込みと読解 第3回 従語言接触角度看日源漢字詞進入漢語和韓語中發生的变化 原文読み込みと読解 第4回 従語言接触角度看日源漢字詞進入漢語和韓語中發生的变化 原文読み込みと読解 第5回 従語言接触角度看日源漢字詞進入漢語和韓語中發生的变化 新たな観点は何か 第6回 中国文化在日語語言文学中的伝播与体现 原文読み込みと読解 第7回 中国文化在日語語言文学中的伝播与体现 原文読み込みと読解 第8回 中国文化在日語語言文学中的伝播与体现 例文の検討 第9回 中国文化在日語語言文学中的伝播与体现 新たな観点は何か 第10回 漢語空間語言特徴及儿童方位詞短語的習得 原文読み込みと読解 第11回 漢語空間語言特徴及儿童方位詞短語的習得 原文読み込みと読解 第12回 漢語空間語言特徴及儿童方位詞短語的習得 原文読み込みと読解 第13回 漢語空間語言特徴及儿童方位詞短語的習得 例文の検討 第14回 漢語空間語言特徴及儿童方位詞短語的習得 新たな観点は何か 第15回 授業のまとめ、授業アンケート 回数については目安で、授業の進行状況によって調節します。						
成績評価の方法	毎回の授業参加・小課題（5割）、期末レポート（5割）にて評価します。						
成績評価の基準	・卓越している＝中国語で書かれた中国語についての文章を確実に読解でき、同じテーマに対する別の見方も参照し、更に自分の知見を加えて考察できる ・かなり上にある＝中国語で書かれた中国語についての文章を確実に読解でき、同じテーマに対する別の見方も参照することができる ・やや上にある＝中国語で書かれた中国語についての文章を確実に読解できる ・その水準にある＝中国語で書かれた中国語についての文章をほぼ読解できる						
事前事後学習の内容	現代中国語の関わるトピックについて、中国語で書かれた文章を読み込むことに慣れるのが先決です。用語や文体のパターンを把握できるよう辛抱強く続けましょう。						
履修上の注意	中国語の基本的文法知識を一通り習得していることを前提として授業を進めます。中国語母語話者も勿論受講生として歓迎しますが、語学的な観点から母語を見つめ直すことのできる人を望みます。						
質問、相談への対応	毎週火曜日12:30～13:20のオフィスアワーでは人文学部棟2階で行われている中国語サロンにいます。その他の日時でも、授業以外の研究室にいる時には対応できますので、予めメールで問い合わせてください。 伊藤の授業担当時限は人文学部・人文科学研究科・共通教育シラバスにて確認してください。 メールアドレス: itokana@shinshu-u.ac.jp						
教科書	eALPSにて中国語学関係のPDFを配布します。						
参考書	必要な場合は適宜紹介します。						